

(あ)

アクティブメンバー

Active Member全体の中の個人・個人であって集団であることの自覚を持ち、そして責任を果たし、社会開発と、自己開発に挑戦し、活発に行動する会員のこと。

AGENDA(アジェンダ)

理事会や委員会等を運営する時の式次第のこと。

アテンダンス

例会、総会等、各会合に出席することをいう。

アドバイザー

パネルディスカッションなど討議会の時に、会議を進行させる為に助言を行う講師のこと。

(い)

委員会

青年会議所の中に各種担当する事業・例会等に分かれた組織。

(え)

エリア会議

国際青年会議所は世界の加盟NOMを地域別に4つに分けている。

(アフリカ・中東地域) : (アジア・オセアニア地域)・(北・中・南アメリカ地域) : (ヨーロッパ地域)

各地域において年1回 5月～6月に行われる総会をエリア会議と呼び、アジア・オセアニアのエリア会議は、ASPAC(アジア太平洋地域会議-Asia Pacific Area Conference)という名で親しまれている。

エントリー

各LOMが褒章獲得のために、または大会誘致等々のために立候補申請すること。

エンドースプログラム

国際青年会議所公認のプログラム。

(か)

カテゴリー

本来の意味は同一性質のものが属する部類をさし、国際青年会議所では主要重点事業という意味。

(き)

業種別部会

同業種に従事する会員の集い。現在40あまりの業種別部会がある。

京都会議

日本青年会議所が毎年1月に、京都国際会議場で行う会議。年度の事業計画・予算の決定・事務引継ぎ等が行われる。

(く)

グローバルネットワーク

国際アカデミーの全行程すべてに参加し、卒業しを認められた卒業生の称号。

(こ)

コロッキー

パネルディスカッションと同様の形式による会議法で、途中専門家が追加出席して意見を述べ、討論が一方向的な方向へ行かないようコントロールできる。

コーディネーター

会議の際に、それまで出された意見を集約、調整し、会議を進行させる担当者

国際アカデミー(JCI Academy)

1988年以来継続して行われているJCI公認のグローバルリーダー育成トレーニングプログラム。

(し)

シスターJC

国際青年会議所に加盟している国家青年会議所及び市単位、県単位又は各地青年会議所の相互間の親善と友好のために、相互の交流を行う締結関係を結んだ青年会議所のこと、姉妹JCともいう。

シニアクラブ

日本青年会議所シニアクラブは、青年会議所卒業生同窓会として相互の親睦を図るとともに、現役活動を陰ながら援助しようという目的で1960年に設立された。青年会議所卒業生なら誰でも入会できる。

社会起業家

社会起業家とは、持続可能な発展をする社会の仕組みを構築するために、それぞれが社会に貢献するための起業をする人。すなわち営利・非営利を問わず、自由社会的価値のあることを創造し、実践していく人々のこと。

出向者

各地青年会議所より国際青年会議所・日本青年会議所・地区協議会・ブロック協議会へ役員や委員として参加するメンバーのこと。

承認伝達式

新規に設立されたJCに対し、日本JCからその承認証が正式に伝達されるとき式の式典。

シンポジウム

語源はギリシャ語といわれ、「親しい者同士が和やかに食事をする」の意。ある大きなテーマを中心に多くの報告者によって各々の立場から関連したことが講演形式によって述べられる。討論は行わないが、各報告に対する質問は許される。

(す)

スポンサーJC

青年会議所未設立の地域の青年有志に働きかけ、設立を指導援護する青年会議所のこと。

(せ)

セネター制度

青年会議所終身制度のことで、青年会議所運動に多大な貢献をしたメンバーをLOMが承認・推薦し、NOM及びJCIの承認を得てその資格一終身番号が与えられる。与えられた終身番号は、会員の死後も永久に残るといふ名誉ある資格である。

セミナー

大学の教育法の一つ。講師の指導のもとに参加者が集って、討議して進める共同研究のことで、ゼミナールともいう。

全国会員大会(National Convention)

毎年秋に行われる全国会議。開催地は持ちまわりで行われている。日本青年会議所の委員会が数日間に渡り、会議や講演を中心に、全国LOMに向けて委員会報告・情報発信を行う。また、日本青年会議所の卒業式も行われる。

(そ)

総会

LOMの最高議決会議。総会は正会員をもって構成し、定時総会と臨時総会の2種類がある。定時総会は、毎年数回定期的に開催され、臨時総会は随時招集される。

(ち)

地区協議会

日本青年会議所としての事業計画・方針などを各ブロック及び各地青年会議所に伝達浸透させ、また一方では、各地青年会議所の事業活動・意見などを、日本青年会議所に報告する為の機関である。

チャーターメンバー

Charter Member 各地青年会議所が設立された時に入会した初代会員の呼称。

直前理事長・直前会長・直前会頭

単年度制をとっている青年会議所では、LOMの前年度理事長を「直前理事長」、地区・ブロックの前年度会長を「直前会長」、日本青年会議所では「直前会頭」と称している。

(て)

デルファイ法

解答が知られていない問題を複数の専門家に推測してもらい、それらの回答を集めて公開し、再度同じ複数の専門家に推測してもらう議事法。これを繰り返して解答を求めていく。

(に)

日本JC共済会

一般の共済会と同様にJCメンバーの福利厚生を目的としているのと合わせて、日本JC、LOMの財政基盤を充実させている。

人間力大賞(旧TOYP大賞)

各地で、様々な分野で、素晴らしい考え方をもちそれを実践し、まちの地球市民として活動を続けている将来性のある若者(TYOP=傑出した若者)の功績を讃え、その運動を広く紹介するとともに、そこから学ぶことを目的としている。

(は)

バズセッション

討論方法。まず皆が発言出来るような小グループに分け、ここで個人個人の意見を自由に表現させ、その意見を調整し、もちより、全員参加の総会を開く。即ち全員に発言を許し、会議の結論に貢献させる方便として考えられた。この小グループによる話し合いの過程をバズセッションという。

パネリスト

パネルディスカッションを行う時に、各分野から出席する数名の意見発表者のこと

パネルディスカッション

パネリストによる密度の高い座談会議である。多くのものが全員討議するかわりに数名のメンバーを選んでそのメンバー間で自由に討論してもらう形式。

ハーキュリアン・ダンス・クラブ

青年会議所の設立当初の団体名。その後、「進歩的青年市協会(YMPCA)」→「青年商工会議所」→「青年会議所」と改名された。

(ふ)

フィリップ66方式

バズ方式に似たもので、多人数の場合小グループ(6人)に分け、6分間という時間を定めて短時間に集中的に各グループが会議を行う方式のこと。66式討議ともいう。

ブレインストーミング

皆が集まって、あらかじめ議題を定めず、何人にも拘束されずに自由に自己の創造的なアイデアを思いつくままに出していき、集団の集中的ディスカッションによって良い考えを発見・発展させようとする方法。(集団的創造力開発の方法)

ブロック協議会

日本青年会議所及び地区協議会としての事業計画・方針などを各地青年会議所に伝達浸透させ、また一方では、各地青年会議所の事業活動・意見などを、日本青年会議所及び地区協議会に報告する為の機関である。

(へ)

ヘンリー・ギッセンバイヤー

青年会議所の前身「ハーキュリアン・ダンス・クラブ」を創設した人物。当時、彼はアメリカはセントルイスの銀行員。

(ま)

マニュアル

手引き書のこと、日本JCには組織に関するもの、運営に関するもの、事業に関するもの等多くのマニュアルを持っている。

(り)

理事会(Board of Directors Meeting)

理事会は理事をもって構成し、総会から委任された事項、総会に提出すべき議題、総会の議決を要しない事項の執行に関することについて議決する。

(れ)

例会

週ごと、月ごとなど、一定の期間を決めて行われる会合。

(ろ)

ロバート議事法

ロバート・ルールズ・オブ・オーダー。多数者の権利・少数者の権利・個人の権利・不在者の権利の4つの権利を基本的な原則として行う会議運営の方法。これは国連をはじめ、世界各国で採用され、国際青年会議所・日本青年会議所でも正式に採用されている。

(わ)

ワールド कांग्रेस

国際青年会議所が主催し、年1回開催される世界会議のことで、国際青年会議所の事業計画・予算の決定・役員選出・褒賞の授与・翌年度の開催地の決定などが行われるJCIの最高の意志決定機関(総会)。

(A)

AOY

Accent On Youth 青少年開発のこと。アオイ 頭文字をとってA・O・Yという。その地域社会に住む青年を参加動員させて、地域社会の開発のためにより良き道を見出すよう青年たちを助ける方法を提供するプログラムである。1970年にダブリン世界会議でカテゴリー(主要事業) No.1プログラムに採択された。

ASPAC

Asia Pacific Area Conferenceの略。アジア太平洋エリア会議。

(C)

CD

Community Development の略で社会開発のこと。

CRA

コミュニティ・リレーション・アプローチの略で、企業と地域社会の信頼関係をうちたてる方法である。

COC

Conference Organizing Committeeの略。大会実行委員会の意。

Chairman

議長・委員長の意。

(D)

DO

Development Officerの略。開発担当役員。

(E)

EVP

Executive Vice Presidentの略。常任副会頭(国際青年会議所)／副会頭(日本JC)。

(F)

FC構想

フューチャークラブ構想の略で、青少年が手をつなぐ運動のこと。地域社会にある既成の青少年グループ。会員自身の子弟、会員の経営する企業内の勤労青少年などを始動団体として、明日の日本の為の広場づくりを進める働きかけのことである。

(G)

GA

General Assemblyの略。総会の意。

GLC

General Legal Councilの略。法制顧問(国際青年会議所)

(H)

HD

Humanity Developmentの略で人間開発のこと。

HQ

Headquarterの略。本部の意。

(I)

IPP

Immediate Past Presidentの略。直前会頭・直前理事長の意。

(J)

jaycee

青年会議所会員個々のこと。(注:但し、この使い分けは、英語圏のNOMではそれ程、厳密ではない)

JC

Junior Chamber の頭文字をとったもので、組織としての青年会議所の意。

JC綱領

日本青年会議所の方針などの基本を示したもの。

JC宣言

日本青年会議所が意見・方針などを外部に発信するための宣言文。過去2回改訂されている。

JCI

Junior Chamber Internationalの頭文字をとったもので、国際青年会議所の意。各国青年会議所の連絡・統合・調整機関で、本部はアメリカ・ミズリー州セントルイスにある。

JCデー

日本において最初に青年会議所運動が開始された1949年9月3日を記念して、毎年9月3日をJCデーと称している。

JJC・JCI JAPAN

Junior Chamber International Japanの略。日本青年会議所。

JCI-APDC

JCI Asia Pacific Development Councilの略。アジア太平洋開発協議会。国際青年会議所が区分するアジア・太平洋地区の会員開発と情報支援を主に担う組織。

JCIオペレーションホープ

国際青年会議所が、スマトラ沖地震による津波災害の経験を元に、2005年1月1日付けで設置した災害復興援助プログラム。寄付金を集め震災復興援助金として積み上げ、必要時に国際青年会議所 常任理事会の承認の元、実施される。

Japan Night(ジャパンナイト)

ASPACや世界会議の際に行われるイベント。大会参加者同士の懇親を深め、特に海外メンバーを日本メンバーがもてなす場として開催される。

(K)

KJ法

川喜田二郎氏によって開発された創造力開発の手法。紙切れ法とも呼ばれ、本調査に関連があるか否かの判断をしないで、ひたすら情報をカード化し、その後、ある一定の方法でこれを組み立てて判断するという手法。例えば、グループごとに話し合い、全体会議で発表しまとめていく。

(L)

LD

Leadership Development の略で指導力開発のこと。

LIA

Leadership in Action の頭文字をとったものでLDが発展拡大したものである。個人の集団の指導力を開発するプログラムで実践指導力開発と日本語訳されている。1968年のマルデルプラタ世界会議でカテゴリー(主要事業)No.1プログラムに採択された。

LOM

Local Organization Memberの頭文字をとったもので、国家青年会議所の中に属する各地青年会議所の意。

(M)

MD

Management Developmentの略で、経営開発のこと。

MIA

Management in Actionの略で、より高き経営者像を求めてという経営開発マニュアルの主流プログラム。

(N)

NOM

National Organization Memberの頭文字をとったもので、国家青年会議所の意。例えば、日本青年会議所は、国際青年会議所の中の1NOM(国家青年会議所)である。

NOM P

NOM Presidentの略。各国の会頭。

(O)

OMOIYARI運動

2005年、自分のことより他人のことを思いやる利他の精神をグローバルモラリティと位置づけ立ち上げた運動。

(S)

SA

Special Assistantの略。補佐。

SG

Secretary Generalの略。事務総長(国際青年会議所)／事務局長(日本JC)

(T)

TR

Treasurerの略。財政顧問(国際青年会議所)

(V)

VP

Vice Presidentの略。副会頭(国際青年会議所)／常任理事・副理事長(日本JC)

VC

Vice Chairmanの略。副議長・副委員長。

(P)

P

Presidentの略。会頭・理事長の意。

(W)

We Believe

日本青年会議所は、対外的・対内的な広報活動の強化と拡充を図るために、月刊誌We Believeを全会員に配布している。(毎月1回15日発行、A4判)

World Congress

世界会議。

WP

World Presidentの略。国際青年会議所会頭。

(他)

3分間スピーチ

ちょうど3分間でスピーチまたは話、メッセージを伝え完了させる方法・練習。昔、路上設置電話は10円で3分通話でき、3分間で相手に伝える事を大切にしていたことから、始まったとも言われている。